

・水産環境保全委員会「防潮堤建設にあたっての要望書を提出」（平成 24 年 12 月 8 日）

防潮堤建設にあたっての要望書を提出

水産環境保全委員会委員長 河野 博

2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴う津波によって、太平洋沿岸の広い地域は大きな被害を受けました。現在、東北地方の沿岸地域では、防潮堤の建設が進められています。防潮堤は、防災と減災にとって重要な施設である一方、海岸域の生態系の破壊を招く恐れもあります。そこで、日本生態学会生態系管理専門委員会、植生学会企画委員会、日本水産学会水産環境保全委員会は、防潮堤の建設や復興工事にあたっては、生態系や生物多様性にも配慮することと、そのために学会の委員会として様々な面で協力する旨の要望書を、岩手県、宮城県、福島県の各知事に提出いたしました。

津波被災地での防潮堤建設にあたっての自然環境への配慮のお願い
(PDF)